



取扱説明書

ColorEdge® CS2410

カラーマネージメント液晶モニター

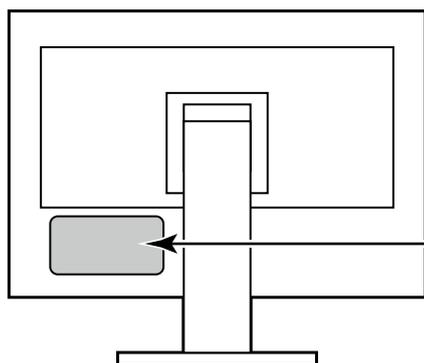
重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書および使用上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

- ・モニターの設定 / 接続については、セットアップガイドを参照してください。
- ・取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

www.eizo.co.jp

警告表示位置



WARNING

RISK OF ELECTRIC SHOCK. DO NOT OPEN.

AVERTISSEMENT

RISQUE DE CHOC ÉLECTRIQUE. NE PAS OUVRIR.

WARNUNG

GEFAHR DES ELEKTRISCHEN SCHLAGES. RÜCKWAND NICHT ENTFERNEN.

警告

触电危険、请勿打开后盖。

警告

感電の恐れあり、カバーをあげないでください。

The equipment must be connected to a grounded main outlet.

L'appareil doit être relié à une prise avec terre.

Jordet stikkontakt skal benyttes når apparatet tilkobles datanett.

Apparaten skall anslutas till jordat nätuttag.

设备必须连接到接地地的电源插座。

電源コードのアースは必ず接地してください。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途の他、色の再現性を重視するグラフィック制作やデジタルフォト加工の用途にも適しています。

製品の仕様は販売地域により異なります。販売地域外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。This product has been adjusted specifically for use in the region to which it was originally shipped. If the product is used outside the region, it may not operate as specified in the specifications.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

モニターの表示が安定するまでに、約30分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる画面品位の劣化を抑え、長くご使用いただくには、輝度を下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「[クリーニングの仕方](#)」(P.4) 参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネル面や液晶パネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、液晶パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- キャビネットや液晶パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（別売オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。
-

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

モニターについて.....	3	第5章 トラブルシューティング.....	25
クリーニングの仕方.....	4	5-1. 画面が表示されない場合.....	25
モニターを快適にご使用いただくために.....	4	5-2. 画面に関する症状.....	26
目次.....	5	5-3. その他の症状.....	27
第1章 はじめに.....	6	第6章 ご参考に.....	28
1-1. 特長.....	6	6-1. スタンド取り外し方法.....	28
1-2. 各部の名称と機能.....	7	6-2. オプションアーム取り付け方法.....	29
● 前面.....	7	6-3. ケーブルホルダーの取り付け方法/取り外し方法.....	30
● 背面.....	8	6-4. スタンドベースの取り外し方法/取り付け方法.....	32
1-3. 対応解像度.....	9	6-5. 複数の外部機器を接続する.....	35
● デジタル信号（DVI-D、DisplayPort、HDMI：PC信号）入力時.....	9	6-6. USBハブ機能の使用方法.....	36
● デジタル信号（HDMI：ビデオ信号※2）入力時.....	9	● 接続方法.....	36
1-4. コンピュータの表示設定を変更する.....	10	6-7. 仕様.....	37
● Windows 10の場合.....	10	● オプション.....	38
● Windows 8.1 / Windows 7の場合.....	10	付録.....	39
● macOSの場合.....	11	商標.....	39
第2章 基本の設定.....	12	ライセンス.....	39
2-1. スイッチの操作方法.....	12	アフターサービス.....	40
2-2. 入力信号を切り替える.....	12		
2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える...13			
● モードの種類.....	13		
2-4. 明るさを調整する.....	13		
第3章 詳細な調整 / 設定.....	14		
3-1. 設定メニューの基本操作方法.....	14		
3-2. 設定メニューの各機能.....	15		
● カラー調整.....	15		
● 信号設定.....	18		
● 本体設定.....	20		
● 言語選択.....	22		
● インフォメーション.....	22		
第4章 管理者向け設定.....	23		
4-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法.....	23		
4-2. 「管理者設定」メニューの各機能.....	24		

第1章 はじめに

この章では、モニターの特長と、各部の名称を説明します。

1-1. 特長

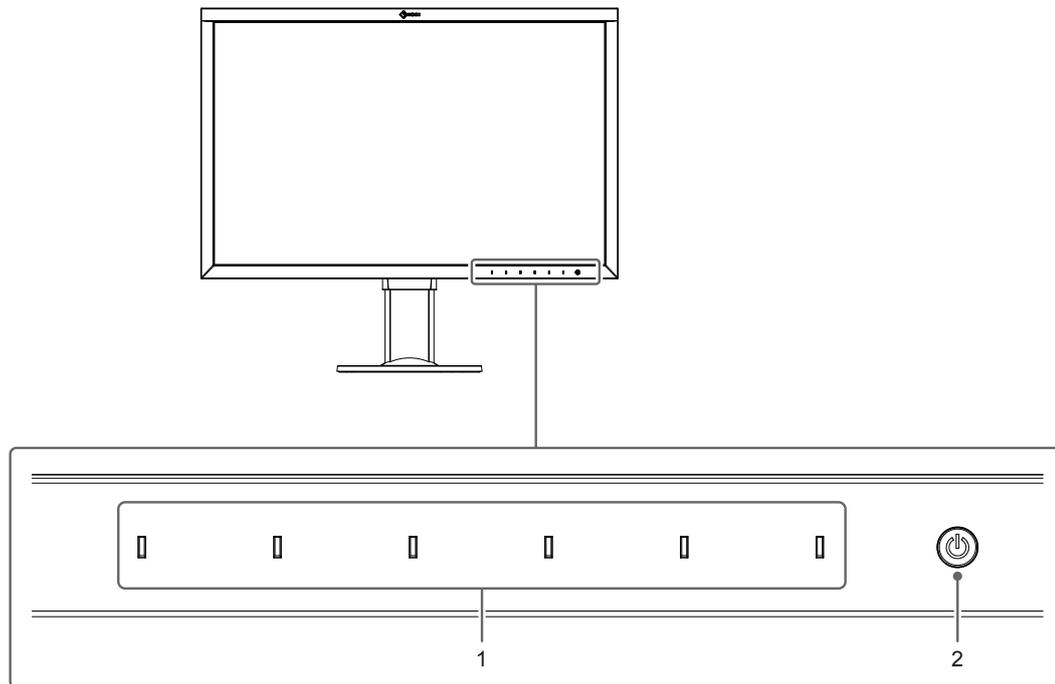
- 24型ワイド画面
- 解像度：1920×1200対応
- IPSパネルによる上下左右89°の広視野角を実現
- フレーム同期モード対応周波数：23.75Hz～30.5Hz、47.5Hz～61.0Hz
- 3系統のデジタル信号入力に対応（DVI-D×1、HDMI×1、DisplayPort×1）
 - DisplayPort（8bitおよび10bitに対応）※1
 - HDMI（8bit、10bitおよび12bitに対応）※1、※2
HDMI入力でPC信号に対応
- ※1 音声は非対応
- ※2 10bit、12bitはHDMI-Video設定時のみ対応。画面表示は最大8bitになります。
- 可動範囲の広いスタンドを採用
作業しやすく疲れにくい快適な位置にモニターを調整できます。
（チルト：上35°/下5°、スウィーベル：344°、昇降：155mm（チルト角度0°））
- 縦表示対応
- モニター特性の測定と調整、カラープロファイルの作成が可能なカラーマネジメントソフトウェア「ColorNavigator 7」に対応
- USB3.1に対応したUSBハブ機能を搭載
最大5Gbpsの高速データ転送を実現し、USBメモリなどの大容量データも短時間で転送できます。
また、USBダウンストリームポートの「CHARGE」ポートは急速充電にも対応し、短時間でスマートフォンやタブレットを充電することができます。
「6-6.USBハブ機能の使用方法」（P.36）参照、「USB CHARGE ポート」（P.21）参照
- HDCP（著作権保護技術）により保護されたコンテンツを表示可能

参考

- このモニターは縦表示に対応しています。縦表示にした場合は、設定メニューの向きを変更することができます（「メニュー回転」（P.20）参照）。
 - モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください（www.eizo.co.jp）。
-

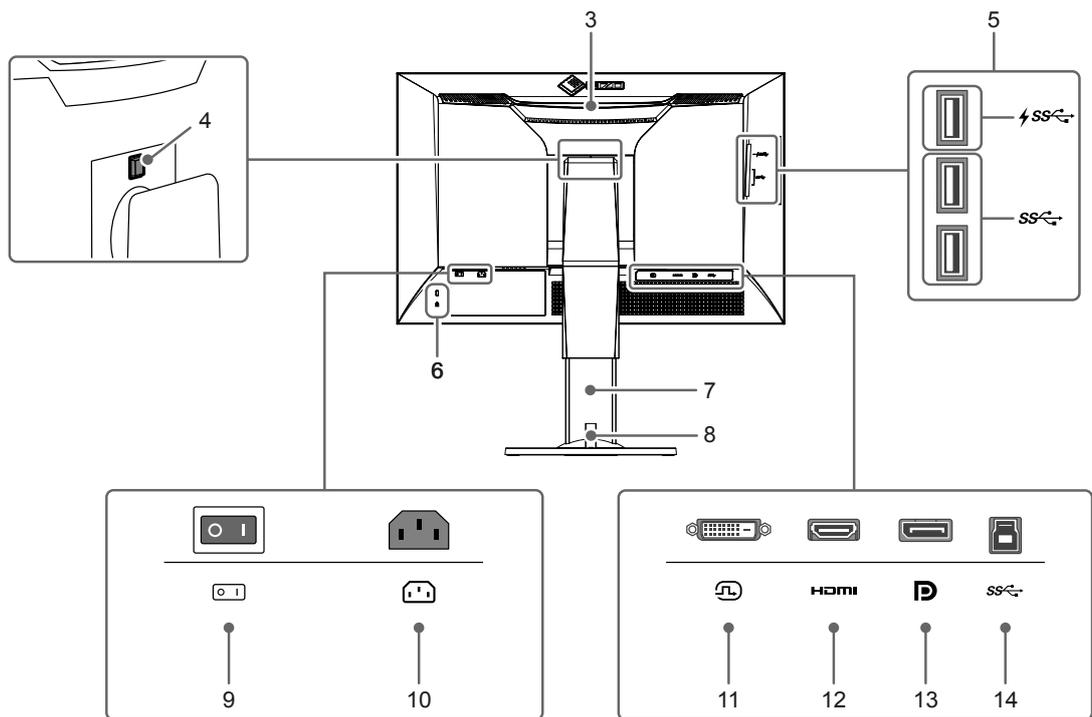
1-2. 各部の名称と機能

● 前面



1. 操作スイッチ	メニューを表示します。ガイドに従って操作します。 スイッチに触れるとメニューが表示されます。 電源を入れると、スイッチのランプが白色に点灯します。
2. 電源スイッチ	電源のオン/オフを切り替えます。 スイッチに触れると電源が入ります。 電源を入れると、スイッチのランプが点灯します。モニターの動作状態に応じてランプの色が変化します。 白 : 通常動作モード 橙 : 省電力モード 消灯 : 電源オフ

● 背面



3. 運搬用ハンドル	運搬用のハンドルです。 注意点 ・ 運搬時にはハンドルと画面の下部をしっかりと持ち、モニターを落とさないようご注意ください。
4. ロックボタン	モニターからスタンドを取り外すときに使用します。
5. USB Type-Aコネクタ (USB ダウンストリームポート)	USBに対応している周辺機器と接続できます。USB 3.1に対応しています。「CHARGE」ポート  は急速充電に対応しています (P.21)。
6. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
7. スタンド^{※1}	高さや角度（チルト、スウィーベル）が調整できます。
8. ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。ケーブルホルダーの取り付け方法は、「 6-3. ケーブルホルダーの取り付け方法/取り外し方法 」（P.30）を参照してください。
9. 主電源スイッチ	主電源のオン/オフを切り替えます。 ：オン、○：オフ
10. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
11. DVIコネクタ	DVI出力のある外部機器を接続します。
12. HDMIコネクタ	HDMI出力のある外部機器を接続します。
13. DisplayPortコネクタ	DisplayPort出力のある外部機器を接続します。
14. USB Type-Bコネクタ (USB アップストリームポート)	USB接続が必要なソフトウェア、USBハブ機能を使用する場合にUSBケーブルを接続します。

※1 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります（「[6-2. オプションアーム取り付け方法](#)」（P.29）参照）。

1-3. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

● デジタル信号（DVI-D、DisplayPort、HDMI：PC信号）入力時

解像度	ドットクロック	水平走査周波数	垂直走査周波数
640×480	25.175 MHz	31.469 kHz	59.940 Hz
720×400	28.322 MHz	31.469 kHz	70.087 Hz
800×600	40.000 MHz	37.879 kHz	60.317 Hz
1024×768	65.000 MHz	48.363 kHz	60.004 Hz
1280×960	108.000 MHz	60.000 kHz	60.000 Hz
1280×1024	108.000 MHz	63.981 kHz	60.020 Hz
1600×1200	162.000 MHz	75.000 kHz	60.000 Hz
1680×1050	119.000 MHz	64.674 kHz	59.883 Hz
1680×1050	146.250 MHz	65.29 kHz	59.954 Hz
1920×1080	138.500 MHz	66.587 kHz	59.934 Hz
1920×1200 ^{※1}	154.000 MHz	74.038 kHz	59.950 Hz

※1 推奨解像度です。

● デジタル信号（HDMI：ビデオ信号^{※2}）入力時

解像度	ドットクロック	水平走査周波数	垂直走査周波数
640×480	25.200 MHz	31.500 kHz	60.000 Hz
720(1440)×480i(4:3)	27.027 MHz	15.750 kHz	60.000 Hz
720(1440)×480i(16:9)	27.027 MHz	15.750 kHz	60.000 Hz
720×480p(4:3)	27.027 MHz	31.500 kHz	60.000 Hz
720×480p(16:9)	27.027 MHz	31.500 kHz	60.000 Hz
720(1440)×576i(4:3)	27.000 MHz	15.625 kHz	50.000 Hz
720(1440)×576i(16:9)	27.000 MHz	15.625 kHz	50.000 Hz
720×576p(4:3)	27.000 MHz	31.250 kHz	50.000 Hz
720×576p(16:9)	27.000 MHz	31.250 kHz	50.000 Hz
1280×720p	74.250 MHz	37.500 kHz	50.000 Hz
1280×720p	74.250 MHz	45.000 kHz	60.000 Hz
1920×1080i	74.250 MHz	28.125 kHz	50.000 Hz
1920×1080i	74.250 MHz	33.750 kHz	60.000 Hz
1920×1080p	74.250 MHz	27.000 kHz	24.000 Hz
1920×1080p	74.250 MHz	28.125 kHz	25.000 Hz
1920×1080p	74.250 MHz	33.750 kHz	30.000 Hz
1920×1080p	148.500 MHz	56.250 kHz	50.000 Hz
1920×1080p	148.500 MHz	67.500 kHz	60.000 Hz

※2 HDMI信号入力でビデオ信号を表示する場合は、事前にモニターの設定を変更しておく必要があります。
(「信号フォーマット」(P.24) 参照)

1-4. コンピュータの表示設定を変更する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な表示にならない場合は、次の手順でコンピュータの表示設定を変更します。

● Windows 10の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で右クリックし、メニューを表示します。
2. 表示されるメニューから「ディスプレイ設定」をクリックし、「設定」画面を表示します。
3. ノートPCの画面を含む複数のモニターをコンピュータに接続している場合は、「複数のディスプレイ」メニューで「表示画面を拡張する」を選択し、確認画面で「変更の維持」をクリックします。設定の変更後、「ディスプレイの選択と整理」メニューでモニターを選択します。
4. 「複数のディスプレイ」メニューの「これをメインディスプレイにする」オプションにチェックを入れると、そのモニターの表示が適切になります。
5. 「解像度」メニューの設定がモニターの推奨解像度であることを確認します（解像度の末尾に（推奨）と表示されます）。
6. 文字やアイコンの大きさを変更したい場合は、拡大率（%）のメニューからお好みの倍率を選択します。
7. 設定の変更後、サインアウトを促すメッセージが表示される場合は、一度サインアウトしてから再度サインインしてください。

● Windows 8.1 / Windows 7の場合

※ Windows 8.1の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で右クリックし、メニューを表示します。
2. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックし、設定画面を表示します。
3. ノートPCの画面を含む複数のモニターをコンピュータに接続している場合は、「複数のディスプレイ」メニューで「表示画面を拡張する」を選択し、「適用」をクリックします。確認画面で「変更の維持」をクリックします。
4. 「ディスプレイ」メニューからモニターを選択し、「これをメインディスプレイにする」オプションにチェックを入れて「適用」をクリックすると、そのモニターの表示が適切になります。
5. 「解像度」メニューの設定がモニターの推奨解像度であることを確認します（解像度の末尾に（推奨）と表示されます）。
6. 文字やアイコンの大きさを変更したい場合は、「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックし、設定画面でお好みのサイズを選択して、「適用」をクリックします。
7. 設定の変更後、サインアウト/ログオフを促すメッセージが表示される場合は、一度サインアウト/ログオフしてから再度サインイン/ログオンしてください。

● macOSの場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」パネルが表示されるので、「ディスプレイ」をクリックします。
3. ノートPCの画面を含む複数のモニターをコンピュータに接続している場合は、「配置」タブを開いて「ディスプレイをミラーリング」にチェックが入っていないことを確認します。チェックが入っている場合は外します。
4. 「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の「ディスプレイのデフォルト」にチェックが入っていることを確認します。チェックが入っていない場合はチェックを入れます。これにより適切な解像度に設定されますので、「システム環境設定」パネルを閉じます。ノートPCの画面を含む複数のモニターをコンピュータに接続している場合は、それぞれのモニターに表示されている「ディスプレイ」で設定をおこないます。
5. 任意の解像度を選択したい場合は、「変更」にチェックを入れ、解像度一覧（リストまたはアイコン表示）から解像度を選択し、パネルを閉じます。

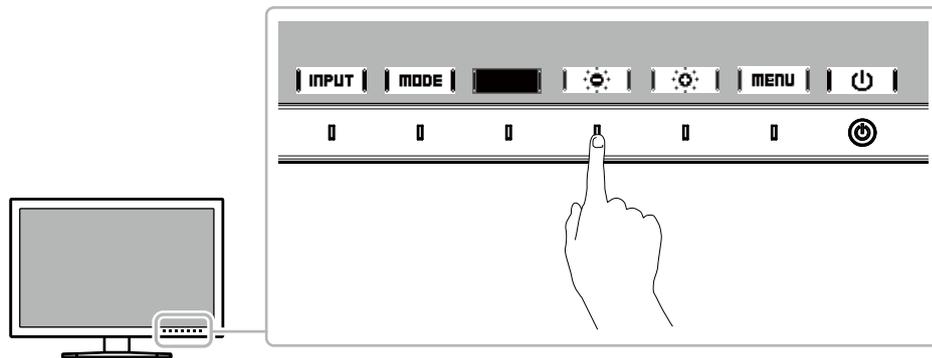
第2章 基本の設定

この章では、モニター前面のスイッチに触れることで設定できる基本の機能を説明します。設定メニューを使って詳細に調整/設定する方法については、「第3章 詳細な調整/設定」(P.14)を参照してください。

2-1. スイッチの操作方法

1. 操作ガイドの表示

1. いずれかのスイッチに触れます(⏻を除く)。
画面にガイドが表示されます。



2. 設定

1. 設定したいスイッチに触れます。
設定メニューが表示されます。
2. 各スイッチで調整/設定し、| OK |を選択して確定します。

3. 終了

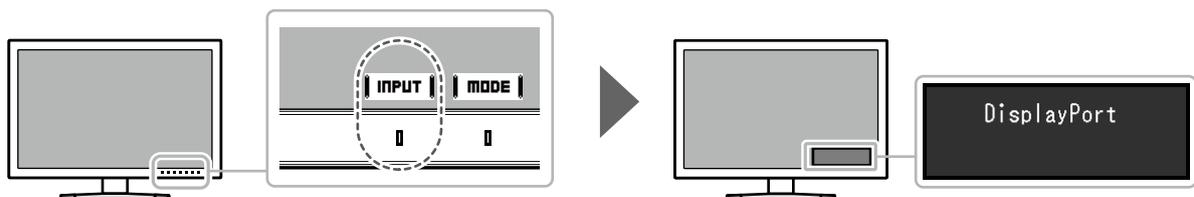
1. |RETURN|または|EXIT|を選択してメニューを終了します。

参考

- ・ガイドの表示内容は、表示しているメニューや状態によって異なります。

2-2. 入力信号を切り替える

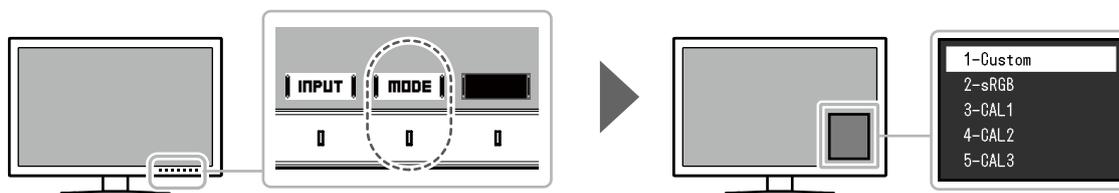
モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。いずれかのスイッチに触れ、| INPUT |を選択し、表示したい入力端子に切り替えてください。



2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える

モニターの使用に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

いずれかのスイッチに触れ、**MODE** を選択し、使用したいカラーモードに切り替えてください。



● モードの種類

カラーモード	目的
Standard Mode	モニターの設定メニューを使用して色の調整をおこなうモードです。カラーマネジメントソフトウェア「ColorNavigator 7」を使用して、モニターの表示調整もできます。
Custom	好みに応じた色設定をおこなう際に選択します。
sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Advanced Mode	カラーマネジメントソフトウェア「ColorNavigator 7」を使用して、モニターの表示調整をおこなうモードです。
CAL1 CAL2 CAL3	ColorNavigator 7による調整状態で表示します。

参考

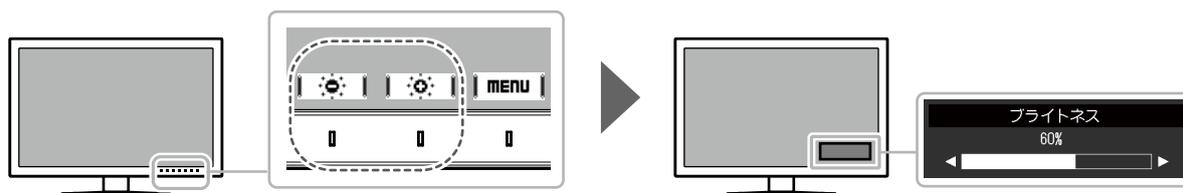
- Advanced Mode (CAL1～CAL3) は、ColorNavigator 7を使用して設定します。モニター本体の設定メニューでは変更できません。
- カラーモードは、入力信号ごとに設定することができます。
- 特定のカラーモードを選択できないようにすることができます。詳細は、「モードスキップ」(P.21) を参照してください。

2-4. 明るさを調整する

設置環境やお好みに合わせて、画面の明るさを調整できます。

設定値

0%～100%



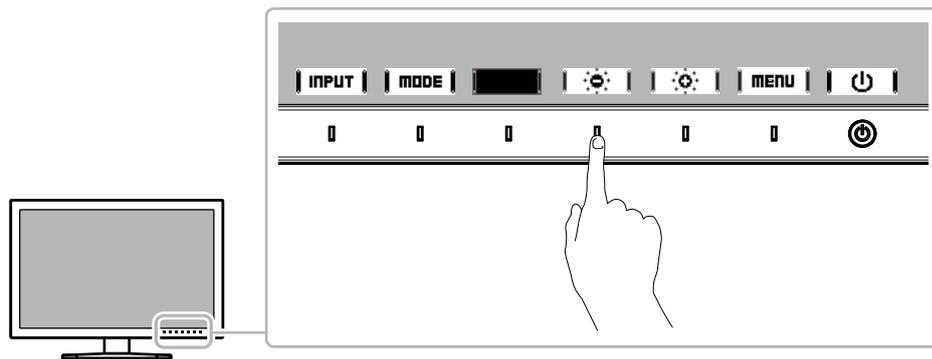
第3章 詳細な調整 / 設定

この章では、設定メニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。モニター前面のスイッチで設定できる基本的な機能については、「第2章 基本の設定」(P.12)を参照してください。

3-1. 設定メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1. いずれかのスイッチに触れます (⏻を除く)。
操作ガイドが表示されます。



2. | MENU | を選択します。
設定メニューが表示されます。



2. 調整 / 設定

1. | ▲ || ▼ | で、調整 / 設定したいメニューを選択し、| ENTER | を選択します。
サブメニューが表示されます。



2. **| ▲ || ▼ |** で、調整 / 設定したい項目を選択し、**| ENTER |** を選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。



3. **| ◀ || ▶ |** で、調整 / 設定し、**| OK |** を選択して確定します。
サブメニューが表示されます。
調整 / 設定中に **| CANCEL |** を選択すると、調整 / 設定を中止して変更前の状態に戻ります。

3. 終了

1. **| RETURN |** を選択します。
設定メニューが表示されます。
2. **| EXIT |** を選択します。
設定メニューが終了します。

参考

- ・ガイドの表示内容は、表示しているメニューや状態によって異なります。

3-2. 設定メニューの各機能

● カラー調整

Standard Mode (Custom / sRGB) で表示している場合は、各カラーモードの色設定を、お好みに合わせて調整できます。



注意点

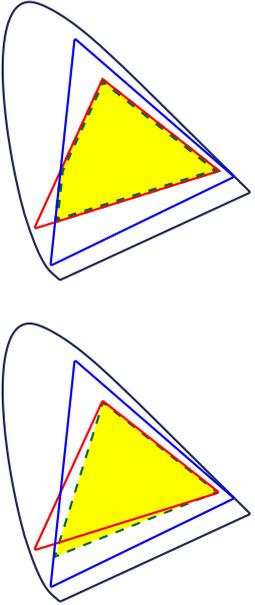
- ・モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- ・「K」、「%」表示は調整の目安としてご利用ください。

機能	設定値	説明
カラーモード	Custom sRGB CAL1 CAL2 CAL3	モニターの用途に応じた表示モードに切り替えます。 参考 ・各モードの切り替え方法は、「2-3. 表示モード (カラーモード) を切り替える」(P.13) を参照してください。

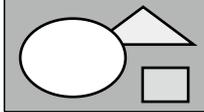
機能	設定値	説明
ブライトネス	0%~100%	バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。
色温度	Native 4000 K~10000 K sRGB User	<p>色温度を調整します。</p> <p>「白」の色度を表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。</p> <p>炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。</p> <p>100K単位で色温度値を設定するか、規格名を選択します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Native」を選択すると、液晶パネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）で表示されます。 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。 色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。
ガンマ	1.6~2.7 sRGB	<p>ガンマ値を調整します。</p> <p>モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。</p> <p>ガンマ値を設定するか、規格名を選択します。</p>
色域	Native sRGB	<p>モニターの色再現域（色域）を設定します。</p> <p>表現できる色の範囲を「色域」といい、複数の規格が定義されています。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Native」を選択すると、パネル本来の色域で表示されます。 定義された色域のうち、モニターが表示できない範囲の色の表示方法を設定することができます。詳細は、「クリッピング」（P.17）を参照してください。

	機能	設定値	説明
詳細設定	色合い	-100～100	色合いを調整します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
	色の濃さ	-100～100	色の濃さを調整します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 最小値 (-100) で白黒の画面となります。
	クリッピング	オン オフ	<p>「色域」 (P.16) で設定した色域のうち、モニターが表示できない範囲の色の表示方法を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「オン」 モニターが表示できる範囲の色は、規格に合わせて正確に表示します。表示できない範囲の色は飽和します。 「オフ」 色の正確性よりも、階調性を重視して表示します。規格で定義された色域の頂点を、モニターが表示できる範囲に移動します。これにより、モニターが表示できる最も近い色で表示します。 <div style="text-align: center;">  <p>— — — — — モニターが表示できる色域 — — — — — 規格で定義された色域 - - - - - 画面に表示する色域</p> </div> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 上図は概念図であり、製品の実際の色域を示すものではありません。 この設定は「色域」 (P.16) で「Native」を選択すると無効になります。
	ゲイン	0%～100%	色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色合いを変更することができます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。 ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
	6色調整	-100～100	Magenta、Red、Yellow、Green、Cyan、Blueの色合い、色の濃さ、および明度（明るさ）を個別に調整します。
リセット		OK キャンセル	現在選択しているカラーモードのカラー調整値を初期設定に戻します。

● 信号設定

画面の表示サイズやカラーフォーマットなど、入力信号の詳細を設定します。

信号設定 (HDMI)		
画面拡大	[自動]
カラーフォーマット	[自動]
入力レンジ	[自動]
ノイズリダクション	[オフ]

機能	設定値	説明
画面拡大	自動 ^{※1} フルスクリーン アスペクト比固定 等倍	<p>モニター画面に表示するサイズを切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動」 入力信号の解像度情報とアスペクト比情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。 「フルスクリーン」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定とは限らないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 ビデオ信号 (480p/i、576p/i) 入力時は、16:9のアスペクト比を保ったまま、画面全体に画像を表示します。 「アスペクト比固定」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。 ビデオ信号 (480p/i、576p/i) 入力時は、4:3のアスペクト比を保ったまま、画面全体に画像を表示します。 「等倍」 設定した解像度のまま、または入力信号のままの大きさを画像が表示されます。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定例 <ul style="list-style-type: none"> - フルスクリーン  - アスペクト比固定  <ul style="list-style-type: none"> - 等倍 (入力信号) 

※1 HDMI入力の場合で、設定値を自動的に判別するための入力信号情報が検出された場合のみ有効

機能	設定値	説明
カラーフォーマット	自動 ^{※2} YUV 4:2:2 YUV 4:4:4 RGB	入力信号のカラースペースを指定できます。 正しい色が表示できない場合に、設定を変更してみてください。 通常は、「自動」を選択してください。 参考 • DVI入力の場合は設定できません。
入力レンジ	自動 ^{※3} フル リミテッド (109% 白) リミテッド	外部機器によっては、モニターに出力する信号のビデオレベルの黒および白が制限されていることがあります。制限されたままモニターに信号を表示すると、黒が淡く、白がくすんで表示され、コントラストが低下します。このような信号を、モニター本来のコントラスト比になるように、輝度レンジを拡張して表示することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 「自動」 入力信号の輝度レンジを自動的に判別し、適切に表示します。 • 「フル」 入力信号の輝度レンジの拡張をおこないません。 • 「リミテッド (109% 白)」 入力信号の輝度レンジを16~254 (10ビット：64~1019) から0~255 (10ビット：0~1023) に拡張して表示します。 • 「リミテッド」 入力信号の輝度レンジを16~235 (10ビット：64~940) から0~255 (10ビット：0~1023) に拡張して表示します。
ノイズリダクション	オン オフ	映像の暗い部分に発生する細かいノイズを低減します。映像のノイズやざらつきを低減したい場合に使用します。 参考 • HDMI入力の場合のみ設定できます。 • ノイズリダクション機能を利用すると、精細な画像が損なわれる場合があります。

※2 設定値を自動的に判別するための入力信号情報が検出された場合のみ有効

※3 DVI入力の場合は無効

● 本体設定

使用環境やお好みに合わせて、モニター本体の設定をおこないます。

本体設定		
入力自動検出	[オフ]
メニュー回転	[0°]
USB CHARGE ポート	[通常]
パワーセーブ	[オン]
ランプ輝度	[4]
ビーブ音	[オン]
入力スキップ		
モードスキップ		
オールリセット		

機能	設定値	説明
入力自動検出	オフ オン	<p>この機能を「オン」に設定すると、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。選択しているコネクタの入力信号がなくなると、自動的に他の信号を表示します。</p> <p>「オフ」に設定すると、信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択しているコネクタからの信号が表示されます。この場合は、モニター前面の操作スイッチ（INPUT）で、表示する入力信号を選択してください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 主電源を切/入したときは、この機能の設定に関係なく、信号が自動的に検出されます。
メニュー回転	0° 90°	<p>設定メニューの向きを設置方向に合わせて変更することができます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください（www.eizo.co.jp/i/rotation）。 モニターを縦表示で使用する場合は、いったんスタンドの上限まで画面を引き上げて上向き（チルト）にしてから、モニターを回転してください。



機能	設定値	説明
USB CHARGE ポート	通常 充電専用	<p>モニターのUSBダウンストリームポートの「CHARGE」ポートはUSB 3.1の急速充電に対応しています。この設定を「充電専用」に変更することで、「CHARGE」ポートに接続した機器を、「通常」設定時より早い時間で充電できます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> この設定を切り替える前に、モニターに接続しているすべてのUSB機器とコンピュータとの通信を終了してください。設定を切り替えるときに、すべての通信が一時的に遮断されます。 「CHARGE」ポートに接続した機器が、急速充電に対応している必要があります。 「充電専用」に設定すると、「CHARGE」ポートではコンピュータと接続機器間のデータ通信ができなくなり、接続機器は動作しません。 「充電専用」に設定すると、モニターとコンピュータをUSBケーブルで接続していない場合でも充電が可能です。
パワーセーブ	オン オフ	<p>外部機器の状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。</p> <p>信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。省電力モードに移行すると、画面を非表示にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードからの復帰方法 <ul style="list-style-type: none"> - モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。 モニターを使用しないときは、主電源スイッチをオフにすることで電力が消費されなくなります。 省電力モードの場合も、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
ランプ輝度	オフ 1～7	画面表示時の電源スイッチおよび操作スイッチの明るさを設定することができます。（初期設定：4）
ビープ音	オン オフ	スイッチを操作したときの操作音を設定することができます。
入力スキップ	スキップ －	<p>入力信号を切り替えるときに、使用しない入力信号をスキップすることができます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての入力信号を「スキップ」にすることはできません。
モードスキップ	スキップ －	<p>モードを選択するときに、使用しないモードをスキップすることができます。表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのモードを「スキップ」にすることはできません。
オールリセット	OK キャンセル	「管理者設定」メニュー内の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。

● 言語選択

メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。

設定値

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、簡体中国語、繁体中国語



● インフォメーション

モニターの情報（製造名、製造番号(S/N)、ファームウェアバージョン、使用時間）と、入力信号の情報を確認することができます。

例：



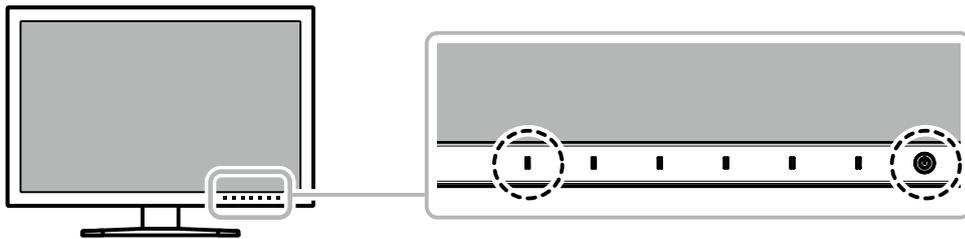
第4章 管理者向け設定

この章では、「管理者設定」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。
このメニューは管理者用です。通常のモニター使用時には、設定の必要はありません。

4-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1. ①に触れて、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のスイッチに触れながら、②を2秒以上触れてモニターの電源を入れます。



「管理者設定」メニューが表示されます。

管理者設定	
起動ロゴ	[オン]
操作ロック	[オフ]
DP Power Save	[オフ]
DUE Priority	[Uniformity]
信号フォーマット	
完了	

2. 設定

1. | ▲ || ▼ | で、設定したい項目を選択し、| ENTER | を選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。

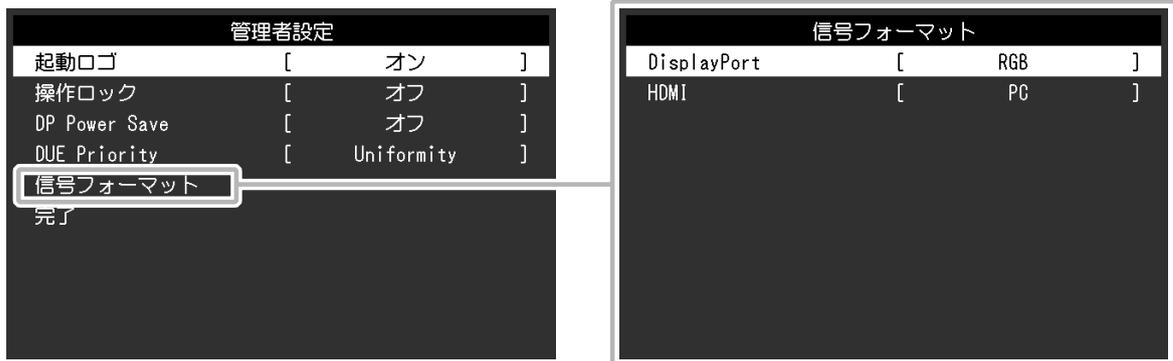


2. | ◀ || ▶ | で、設定し、| OK | を選択します。
「管理者設定」メニューが表示されます。

3. 確定と終了

1. 「完了」を選択し、| ENTER | を選択します。
設定が確定し、「管理者設定」メニューが終了します。

4-2. 「管理者設定」メニューの各機能



機能	設定値	説明	
起動ロゴ	オフ オン	この機能を「オフ」に設定すると、製品の電源を入れた際に表示されるEIZOロゴを非表示にすることができます。	
操作ロック	オフ メニュー オール	設定した状態を変更できないように、モニター前面の操作スイッチをロックすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> 「オフ」 (初期設定) すべてのスイッチが有効です。 「メニュー」 menu スwitchをロックします。 「オール」 電源スイッチを除くすべてのスイッチをロックします。 	
DP Power Save	オン オフ	コンピュータをDisplayPortコネクタに接続している場合、電源のオフ/オン時、および省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれることがあります。その場合は、この機能を「オフ」に設定してください。	
DUE Priority	Uniformity Brightness	この製品には、デジタルユニフォミティ補正 (DUE) 機能が搭載され、画面の表示ムラを低減しています。このDUE設定を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> 「Uniformity」 表示ムラの低減を重視します。 「Brightness」 高輝度、高コントラストを重視します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> DUEの設定を変更する場合、画面調整をしているモニターは、画面の再調整が必要になります。キャリブレーションをやりなおしてください。 	
信号フォーマット	DisplayPort	RGB/YUV RGB	モニターが表示できる信号の種類を切り替えることができます。HDMI信号入力でビデオ信号を表示する場合は、「Video」に設定してください。
	HDMI	Video PC	

第5章 トラブルシューティング

5-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく接続されていますか。 背面の主電源スイッチを入れてください。 ⚡に触れてください。 背面の主電源スイッチを切り、数分後にもう一度スイッチを入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：白色 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ブライトネス」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「カラー調整」（P.15）参照）。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号を切り替えてみてください。 マウス、キーボードを操作してみてください。 外部機器の電源は入っていますか。 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点滅：橙色、白色 	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器をDisplayPortコネクタに接続している場合に、この症状が発生することがあります。当社指定の信号ケーブルで接続し、モニターの電源を入れ直してみてください。
2. 次のようなメッセージが表示される	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されていないときに表示されます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 信号が入力されていない場合の表示です。 <p>例：</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> DisplayPort 入力信号無し </div>	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器によっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 外部機器の電源は入っていますか。 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 入力信号を切り替えてみてください。 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。 「管理者設定」メニューの「信号フォーマット」を変更してみてください（「信号フォーマット」（P.24）参照）。
<ul style="list-style-type: none"> 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 <p>例：</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> HDMI 信号エラー </div>	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器の設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「1-3. 対応解像度」（P.9）参照）。 外部機器を再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

5-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ブライトネス」を調整してください（「カラー調整」(P.15) 参照）。液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
2. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
3. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る / 点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
4. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押し跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
5. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
6. (DisplayPort信号入力時) 電源のオフ/オン時や省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 「管理者設定」メニューの「DP Power Save」で、設定を「オフ」にしてください（「DP Power Save」(P.24) 参照）。
7. (DisplayPortまたはHDMI信号入力時) 画面の色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「カラーフォーマット」を変更してみてください（「カラーフォーマット」(P.19) 参照）。 HDMI信号入力の場合、「管理者設定」メニューの「信号フォーマット」を変更してみてください（「信号フォーマット」(P.24) 参照）。
8. 画面全体に画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「画面拡大」を変更してみてください（「画面拡大」(P.18) 参照）。 HDMI信号入力の場合、「管理者設定」メニューの「信号フォーマット」が「PC」に設定されているか確認してみてください（「信号フォーマット」(P.24) 参照）。 解像度が推奨解像度（1920×1200）に設定されていますか。設定についてはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

5-3. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 設定メニュー/モードメニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none">• 操作スイッチのロックが機能していないか確認してみてください（「操作ロック」(P.24) 参照）。• ColorNavigator 7のメインウィンドウを表示している場合は操作スイッチがロックされています。ソフトウェアを終了してください。
2. USBケーブルで接続したモニターが認識されない/モニターに接続しているUSB周辺機器が動作しない	<ul style="list-style-type: none">• USBケーブルは正しく接続されていますか（「6-6. USBハブ機能の使用方法」(P.36) 参照）。• 周辺機器を「CHARGE」ポートに接続している場合は、「USB CHARGE ポート」の設定を確認してみてください（「USB CHARGE ポート」(P.21) 参照）。「充電専用」に設定されている場合、周辺機器は動作しません。• 外部機器の別のUSBポートに差し替えてみてください。• モニターの別のUSBポートに差し替えてみてください。• 外部機器を再起動してみてください。• 直接外部機器と周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。• ご使用の外部機器およびOSがUSBに対応しているかご確認ください（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください）。• ご使用のUSB 3.1ホストコントローラーによっては、接続したUSB機器を正しく認識できない場合があります。各メーカーが提供する最新のUSB 3.1ドライバに更新するか、USB 2.0ポートとモニターを接続してください。• Windowsをご使用の場合、外部機器に搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください（詳細は外部機器の取扱説明書を参照してください）。
3. 音声を出不せない	<ul style="list-style-type: none">• この製品はスピーカーが搭載されていません。

第6章 ご参考に

6-1. スタンド取り外し方法

この製品はスタンド部分を取り外すことができます。

注意点

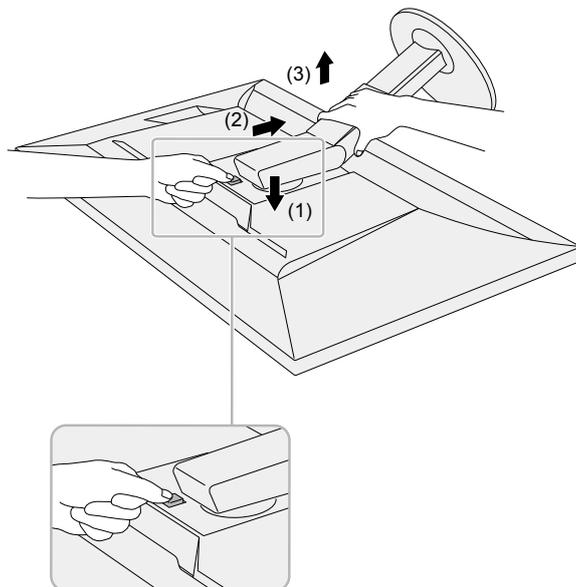
- ・ 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- ・ モニターおよびスタンドは重いため、落としたりするとけがや故障の原因となります。

1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷き、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

ロックボタンを強く押しながら (1)、スタンド支柱をしっかりと持って、スタンドを台座方向にスライドします (2)。

スタンドを固定しているツメが外れるため、スタンドを取り外してください (3)。



6-2. オプションアーム取り付け方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。 www.eizo.co.jp

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。取り付けには本製品に付属のVESAマウント取り付け用ねじをご使用ください。
 - 取付部のねじ穴間隔：100mm×100mm
 - アームまたはスタンドのVESAマウント部外形寸法：122mm×122mm以下
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上45°下45°
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重いため、落としたりするとけがや故障の原因になります。
- 縦置きに設置する場合は、モニター画面を時計回りに90°回転してください。

オプションアーム（オプションスタンド）の取り付け方法

1. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

本製品に付属のVESAマウント取り付け用ねじを使って取り付けます。

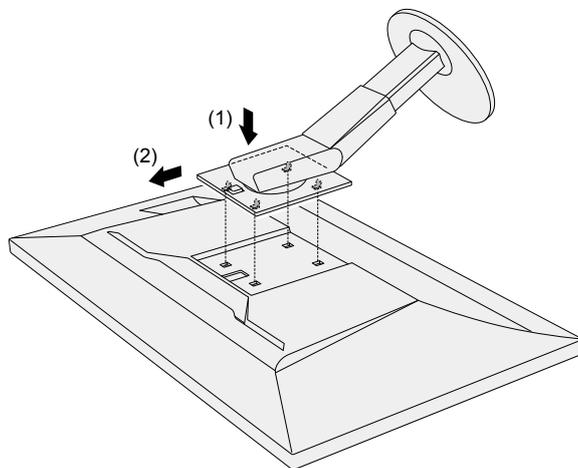
元のスタンドの取り付け方法

1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷き、パネル面を下に向けて置きます。

2. オプションアーム（またはオプションスタンド）を固定しているねじを外し、オプションアーム（またはオプションスタンド）を取り外します。

3. 元のスタンドを取り付けます。

スタンドのツメ（4つ）を、モニター背面の四角い穴に合わせて入れ（1）、スタンドを、モニター上部の方向へ、カチッと音がするまでスライドしてください（2）。

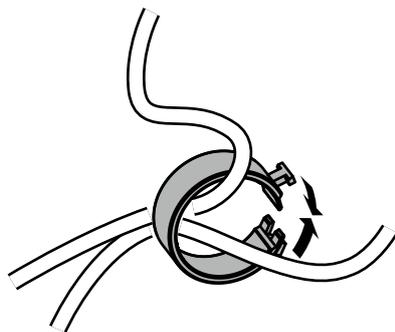


6-3. ケーブルホルダーの取り付け方法/取り外し方法

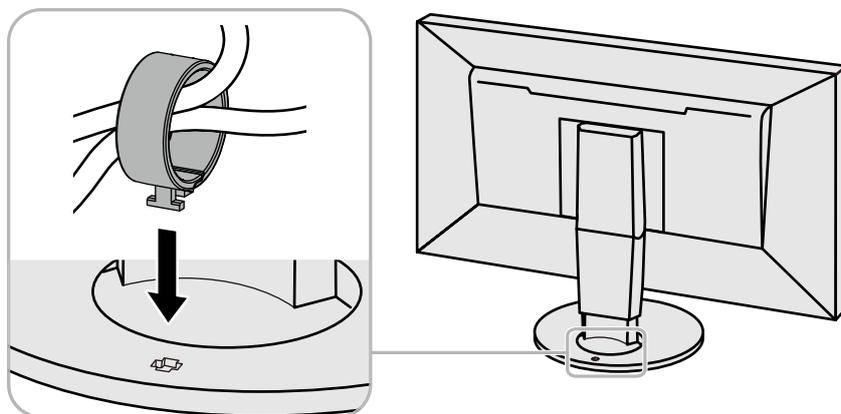
この製品にはケーブルホルダーが付属しています。モニターに接続したケーブル類を配線する際に利用してください。

取り付け方法

1. ケーブルホルダーにケーブルを通します。
2. ケーブルホルダーの開口部を締めます。

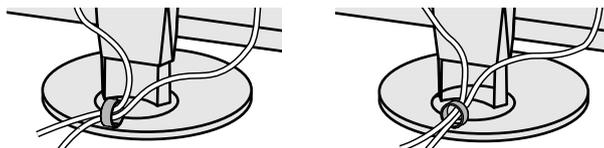


3. その状態のまま、スタンドに差し込みます。



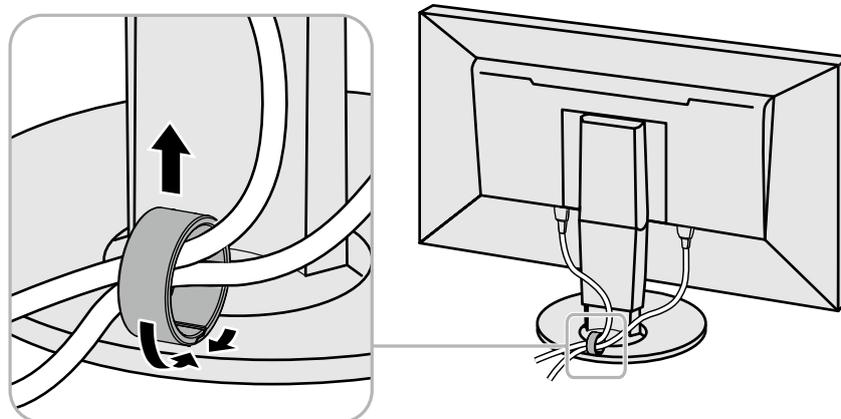
参考

- ・ケーブルホルダーは縦、横のどちらの方向にも差し込むことができます。ケーブルの配線状況に応じて、ケーブルホルダーの向きを変えてください。



取り外し方法

1. ケーブルホルダーの開口部を締めます。
2. その状態のまま、スタンドからケーブルホルダーを抜き取ります。

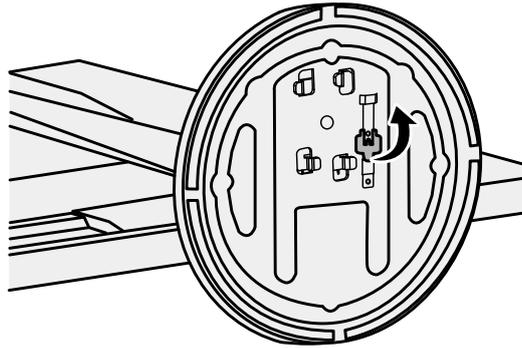


6-4. スタンドベースの取り外し方法/取り付け方法

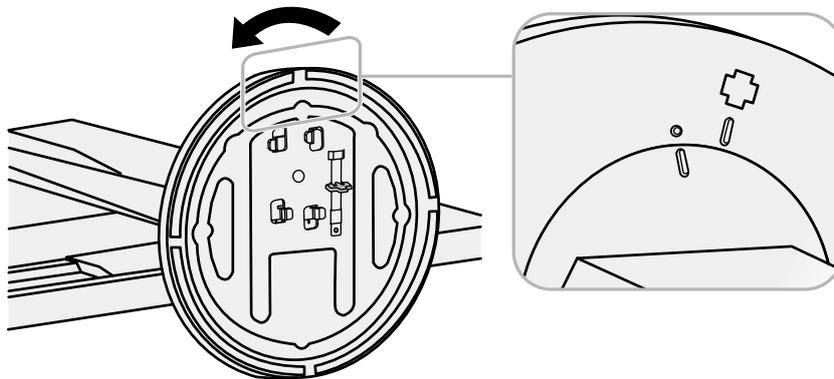
取り外し方法

セットアップ時に取り付けしたスタンドベースは、次の手順で取り外すことができます。

1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
2. スタンドベースの裏面のレバーを起こします。



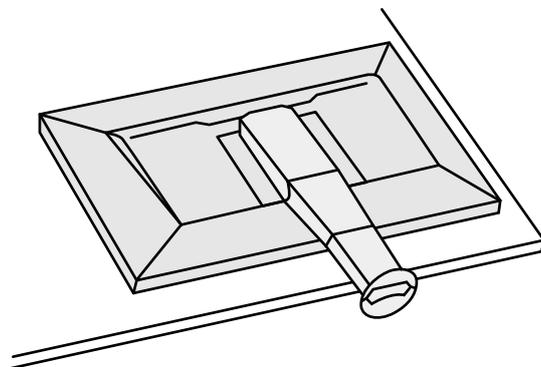
3. スタンドベースを反時計回りに回して外します。



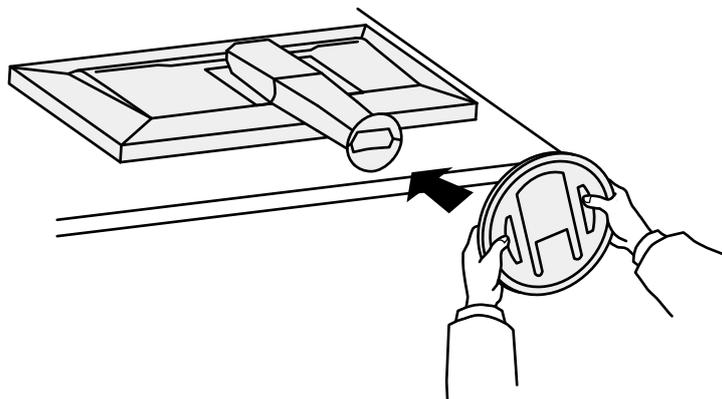
取り付け方法

いったん取り外したスタンドベースは、次の手順で再度モニター本体に取り付けることができます。

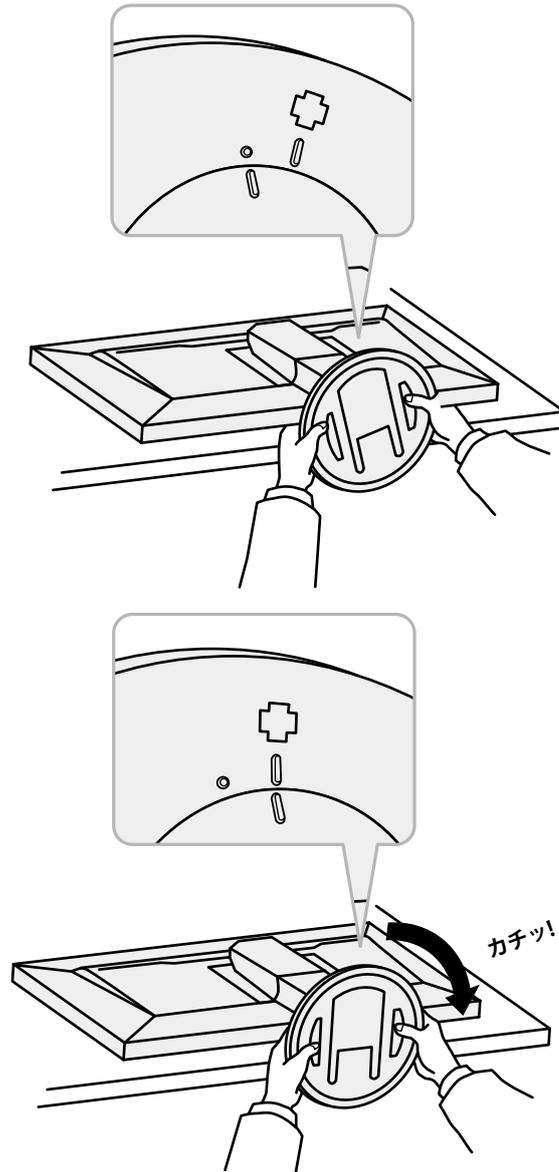
1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。



2. スタンドベースをスタンドの支柱にはめ込みます。



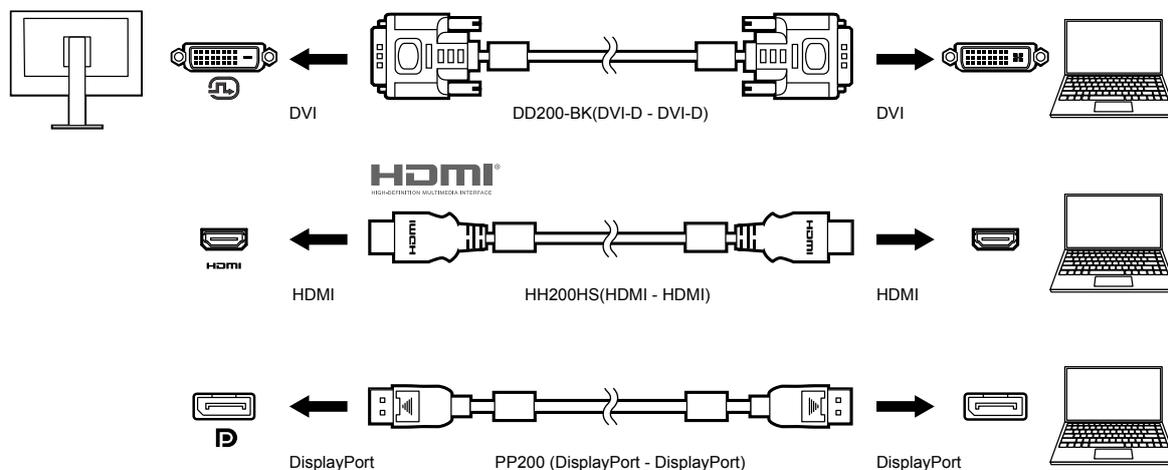
3. カチッと音がするまで、スタンドベースを時計回りに回します。



6-5. 複数の外部機器を接続する

この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



参考

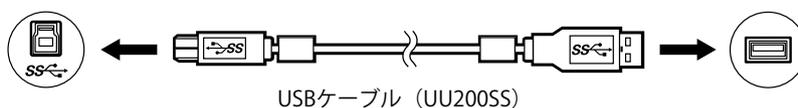
- ・モニター前面の操作スイッチ（**INPUT**）に触れるたびに入力信号が切り替わります。詳細は、「[2-2. 入力信号を切り替える](#)」（P.12）を参照してください。
- ・信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することもできます。詳細は、「[入力自動検出](#)」（P.20）を参照してください。
- ・お使いの外部機器のコネクタがThunderbolt 3 / USB Type-Cコネクタの場合は、USB Type-C - DisplayPort変換ケーブルをご使用ください。

6-6. USBハブ機能の使用方法

この製品はUSBハブを搭載しています。USB対応の外部機器に接続することにより、この製品がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。

● 接続方法

1. USB対応の外部機器のUSBダウンストリームポートと、モニターのUSBアップストリームポートをUSBケーブルで接続します。



モニターのUSBアップストリームポートの位置については、「背面」(P.8)を参照してください。

2. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。

■ 注意点

- 使用する外部機器、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合も、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USBダウンストリームポートに接続されている機器は動作しません。
- 「本体設定」の「USB CHARGE ポート」が「充電専用」に設定されている場合、「CHARGE」ポートに周辺機器を接続しても動作しません（「USB CHARGE ポート」(P.21)参照）。
- 「USB CHARGE ポート」の設定を切り替える前に、モニターに接続しているすべての周辺機器と外部機器との通信を終了してください。設定を切り替えるときに、すべての通信が一時的に遮断されます。

■ 参考

- この製品はUSB 3.1 Gen 1に対応しています。USB 3.1 Gen 1に対応した周辺機器を接続すると、高速のデータ通信が可能になります（外部機器および周辺機器との接続に使用するUSBケーブルが、USB 3.1 Gen 1に対応している場合のみ）。
- USBダウンストリームポートの「CHARGE」ポートは急速充電にも対応しています。短時間でスマートフォンやタブレットを充電することができます。
- お使いの外部機器のコネクタがThunderbolt 3 / USB Type-Cコネクタの場合は、USB Type-C - USB Type-A変換ケーブルをご使用ください。

6-7. 仕様

液晶パネル	種類	IPS (アンチグレア)	
	バックライト	LED	
	サイズ	61.1cm (24.1) 型	
	解像度	1920ドット×1200ライン	
	表示面積 (横×縦)	518.4mm×324.0mm	
	画素ピッチ	0.270mm×0.270mm	
	画素密度	94ppi	
	表示色	約1677万色 (8bitカラー)	
	視野角 (水平 / 垂直、標準値)	178° / 178°	
	コントラスト比 (標準値)	1000:1 (「DUE Priority」: 「Brightness」設定時)	
	応答時間 (標準値)	中間階調域: 14 ms	
	色域表示 (標準値)	sRGBカバー率 100%、NTSC比 79%	
映像信号	入力端子	DisplayPort 1.1a (HDCP 1.3対応) ×1、 HDMI (HDCP 1.4、Deep Color対応) ※1×1、 DVI (Single Link、HDCP 1.4対応) ×1 ※1 HDMI CEC機能 (相互制御機能) には対応していません。	
	水平走査周波数	DisplayPort: 26kHz~78kHz HDMI (Videoモード): 15kHz~68kHz HDMI (PCモード): 26kHz~78kHz DVI: 26kHz~78kHz	
	垂直走査周波数	DisplayPort: 23Hz~63Hz (720×400時: 69Hz~71Hz) HDMI (Videoモード): 23Hz~61Hz HDMI (PCモード): 23Hz~63Hz HDMI (720×400時): 69Hz~71Hz DVI: 23Hz~63Hz (720×400時: 69Hz~71Hz)	
	フレーム同期モード	23.75Hz~30.5Hz、47.5Hz~61.0Hz	
	ドットクロック (最大)	164MHz	
	USB	ポート	アップ ストリーム
ダウン ストリーム			USB Type-A (USB3.1 Gen1) ×3 (「CHARGE」ポートは急速充電に対応)
規格		USB Specification Revision 3.1 Gen 1	
通信速度		5Gbps (スーパースピード)、480Mbps (ハイスピード)、 12Mbps (フルスピード)、1.5Mbps (ロースピード)	
供給電流		ダウン ストリーム	USB Type-A (USB3.1 Gen1): 最大900mA/1ポート USB Type-A (「CHARGE」ポート): 通常 最大1500mA/1ポート、 充電専用 最大2100mA/1ポート
電源		電源入力	AC 100V - 240V±10%、50/60 Hz 0.60A - 0.30A
	最大消費電力	57W以下	
	省電力時消費電力	0.7W以下 (DisplayPort入力のみ、入力自動検出: オフ、USB 機器非接続時、USB CHARGE ポート: 通常で、OSがスリープ 状態へ移行したとき、または、モニターの電源を切る設定が有 効に働いたとき)	
	待機時消費電力	0.6W以下 (入力自動検出: オフ、USB機器非接続時、USB CHARGE ポート: 通常、DP Power Save: オン)	

機構	外観寸法	高さ最小	554.4mm×396mm×245mm（幅×高さ×奥行） （チルト角度0°時）
		高さ最大	554.4mm×558mm×265mm（幅×高さ×奥行） （チルト角度35°時）
	外観寸法（モニター部）		554.4mm×362mm×64mm（幅×高さ×奥行）
	質量		約7.9kg
	質量（モニター部）		約5.1kg
	昇降		155mm（チルト角度0°時）
	チルト		上35°、下5°
	スウィーベル		344°
	縦回転		時計回り90°
動作環境条件	温度	0°C～35°C	
	湿度	20%～80%（R.H.,結露なきこと）	
	気圧	540hPa～1060hPa	
輸送/保存環境条件	温度	-20°C～60°C	
	湿度	10%～90%（R.H.,結露なきこと）	
	気圧	200hPa～1060hPa	

● オプション

オプション品に関する最新情報は、当社のWebサイトを参照してください（www.eizo.co.jp）。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。



DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i-Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、ScreenCleaner、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

保証書について

この製品の保証書はセットアップガイドにあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・ お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- ・ お買い上げ年月日、販売店名
- ・ 製品名、製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例：S/N 12345678）
- ・ 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS、システムのバージョン / 表示解像度など）
- ・ 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- ・ エラーコード（画面に表示された場合）

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収、リサイクル体制を構築しており、お客様がこの製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引き取りしています。なお、詳細な情報については、当社のWebサイトもあわせて参照してください。

(www.eizo.co.jp)

法人のお客様

この製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で一般社団法人「パソコン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。

(www.eizo.co.jp)

個人のお客様

・ PCリサイクルマークの無償提供について

この製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、この製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、当社のWebサイトよりお申し込みください。

(www.eizo.co.jp)

マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター

EIZO Webサイト：www.eizo.co.jp/support/recycle/personal/index.html

※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。

(回収担当窓口は、一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにて対応いたします。)

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

・ PCリサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を一般社団法人 パソコン3R推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

・ お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、一般社団法人 パソコン3R推進協会内 パソコンリサイクル受付センターまでお願いいたします。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター

電話：044-540-0576

月曜日～金曜日（祝日および同センター指定の休日を除く）10：00～17：00

